

# 山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi  
Veterinary Medical Association

第 723 号 令和 3 年 8 月

## 日本獣医師会第78回通常総会・本年度第3回理事会 — WEB 出席報告 —

会長理事 田 中 尚 秋

去る令和3年6月23日(水)、明治記念館(東京都港区元赤坂)において公益社団法人日本獣医師会(以下「日獣」)の第78回通常総会が開催され、Web参加しましたので、その状況を報告いたします。今回も新型コロナウイルス蔓延下、来賓等の招待はなく正会員のみの出席で、会場出席者が11会員、Web出席が24会員、議決権行使書による出席が19会員ということで、合計54会員の出席でありました。詳細については、日本獣医師会雑誌に掲載されると思いますので、ここでは概略の説明とさせていただきます。

まず始めに日本獣医師会・獣医師倫理綱領(獣医師の誓い—95年宣言)の斉唱(古賀俊伸事務局長代読)のあと、藏内勇夫会長からの挨拶があり、平素の協力に対する謝意、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」施行の紹介、来年11月開催予定の第21回(22回→21回に変更)アジア獣医師会連合(FAVA)大会への参加・協力要請、日獣がマイクロチップ(MC)の指定登録機関として唯一指定されたことの報告等と議案審議への協力要請がありました。

続いて、獣医師会職員永年勤続表彰があり30年勤続表彰として3名の方が受賞され、藏内会長から古賀事務局長が代表受領されました。

次に議長及び副議長が選出され、第1号議案から第6号議案までの議案審議が開始されました。

**第1号議案：令和2年度事業報告の件(報告事項)**では、会員数の減少、事務局交代職員等の紹介、事務局の改修(事務局拡張)、日獣が「紺綬褒章」公益団体として認定されたこと、等の報告があり、全会一致で了承されました。

**第2号議案：令和2年度決算の件(承認事項)**では、会員数減少により受取会費収入減となったものの、事

業がほとんど実施できなかったことにより5年ぶりに赤字となったこと等の報告があり、異議等なく全会一致で承認されました。

**第3号議案：令和3年度事業計画の件(報告事項)**では、「薬剤耐性(AMR)対策の推進に関する対応」、「獣医療提供体制の整備に関する対応」、「獣医師と愛玩動物看護師等の適切な役割分担」等について検討中であること、「豚熱等への対応」について行政と地方獣医師会との回答に乖離のある所があるので、調査すること、その他、「女性獣医師の活躍推進」、「緊急災害時動物救護活動への対応(被災動物救護に係る獣医師の出動に係る災害救助法の適用等：法的整備について検討する旨)」、「国際交流事業の振興に関する対応」等について説明がありました。

なお、「獣医学術振興・人材育成事業」に係る「獣医学術学会誌」については、令和4年1月号から電子媒体への一本化に取り組むこと、日獣が区分保有する現新青山ビルは築43年を迎えていることから、将来における新青山ビルの建替え資金の造成方法について検討し、適宜対応すること等が示され、全会一致で了承されました。

**第4号議案：令和3年度予算の件(報告事項)**では、経常収益について受取会費減が見込まれるものの、事業収益増(MC登録増、学会年次大会、VMAT講習会開催等)を見込み、経常費用について主な支出として事務局拡充に伴い賃借料等が増えること、設備投資の見込みでは、事務所ビル修繕工事に係る費用を見込んでいること等の説明があり、全会一致で了承されました。

**第5号議案：令和3年度会費及び賛助会費の件(承認事項)**では、均等割会費と各地方会の会員割会費を

### 第58回(2021年度)山口県獣医学会のご案内

下記のとおり開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- |        |   |                 |          |
|--------|---|-----------------|----------|
| 1 開催場所 | 防長苑(山口市熊野町)                                 | 3 参加費           |          |
| 2 開催日時 | 令和3年8月29日(日)                                | ①本会会員           | : 無料     |
|        | 9:30~                                       | ②学生(大学生・専門学校生等) | : 無料     |
|        | 9:40~11:30                                  | ③動物看護職の方        | : 1,000円 |
|        | 11:30~12:00                                 | ④上記以外の方         | : 3,000円 |
|        | 13:00~16:30                                 |                 |          |
|        | 16:30~17:00                                 |                 |          |
| 4 その他  |   |                 |          |
|        | (1) 発熱などのかぜ症状がある場合は、参加を控えてください。             |                 |          |
|        | (2) 防長苑の駐車場を利用してください。(駐車チケットを受付に提示すると5時間無料) |                 |          |
|        | (3) 昼食の斡旋は行いません。(当日は、防長苑の食堂は休業)             |                 |          |

合せた金額の一覧表が示され、全会一致で承認されました。

### 第6号議案：令和3年度役員選任の件（承認事項）

では、事前に示された役員候補者名簿（理事21名、監事3名）について、各々一人ずつ賛否が問われ、全員承認されました。

ここで一旦総会は閉会となり、引き続き行われた

理事会において会長、副会長等の選定が審議され代表理事・会長として藏内会長をはじめ、副会長、顧問等が全員一致で承認され、会場に残っていた会員、Web出席者あて報告されました。

本年度総会は以上で終了しましたが、来年度こそ日常が回復し、恒例の事業・交流会等が実施できるよう願わずにはおられません。

## 会長重任に当たって

会長理事 田中尚秋



盛夏の候、会員の諸先生方をはじめ関係各位におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また本会の業務遂行

に当たり、平素から特段のご支援・ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

先般発生した熱海の土石流による災害は、本当に甚大なものでありました。被害にあわれた皆様方に衷心より哀悼の意を表させていただきます。

さて、私こと、6月13日（日）、定時総会に続き開催された第2回理事会において会長理事に選定されました。元より浅学短才の身であることは私自身が一番承知しておりますが、今期は中国地区獣医師会連合会の輪番による公益社団法人日本獣医師会（以下「日獣」）の理事就任、さらに、来年度は中国地区獣医師大会・獣医学術中国地区学会の開催担当県でもあることに加えて、マイクロチップに係る収益事業申請の件、来年5月に施行される愛玩動物看護師法への対応の件、災害時動物救護対策、獣医師会館建設問題等、山積する課題に取り組もうとしている現況において代表理事を辞することは避けるべきであると判断しお引き受けした次第でございます。幸い小動物部会の前部会長であった白永伸行先生を副会長に、元山口県生活衛生課長であった酒井理先生を常務理事にお迎えすることができ、改めて、初心に帰り本会発展のために誠心誠意全力で務めていくことを肝に銘じているところでございます。3期6年にわたり副会長を務めていただいた中越一郎先生、1期2年ではありましたが、本会獣医師会諸規程の改定、ホームページの刷新等に積極的にご尽力いただいた福島和彦前常務理事には深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

ところで、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大がなかなか止まりませんが、医療や社会経済に多大なる影響をもたらしたこのたびの経験は、必ずや将来に活かされるものと思えます。人と動物の健康及び環境保全を一体的に推進するワンヘルスアプローチの重要性がさらに一層深く認識されたのではないのでしょうか。

このような状況下、産業動物分野では、豚熱（CSF）、高病原性鳥インフルエンザ多発への対応、近隣諸国から迫りくるアフリカ豚熱（ASF）への備え等、これらの防止対策として、飼養衛生管理基準の順守徹底がますます重要となっており、関係諸先生方のご苦勞がしのばれます。

小動物・公衆衛生の分野では、重症熱性血小板減

少症候群（SFTS）に係る対応が急務となっております。県内におけるSFTSの発生については、県等により実態調査が行われていますが、本会としてもその情報共有の必要性に鑑み、SFTSの検査を所望される先生は、検査依頼された状況を本会へもご報告いただき、症例等を集積して小動物開業の先生方等へフィードバックすることとしております。この取組みにより、犬・猫に係るSFTSの罹患状況が少しは明らかになるものと期待しています。愛玩動物看護師法の施行と相まって「チーム獣医療」の体制づくりも検討しなければなりません。

また、犬の狂犬病予防注射は、昨年度に引き続き今年度も4月～6月に行うべき注射の時期について、厚生労働省から、やむを得ない事情がある場合は、12月末までに受けることも差し支えない旨の方針が示されました。昨年5月、国内で14年ぶりに人での狂犬病輸入症例が確認され、狂犬病に係る啓発は、ますます重要になっていると感じています（国内での発生がないだけに、一般の方の認識も低下していると思われるため尚更）。

日獣の藏内勇夫会長の地元福岡県では、全国に先駆けて「特定獣医師職給料表」の創設や「ワンヘルス推進基本条例」を制定されるなど、目覚ましい活動をされています。公務員獣医師等勤務獣医師の処遇改善に向けての「獣医師職給料表」につきましては、先般、創設に向けて奔走された徳島県副知事の福井廣祐先生のお話を伺うことができました。福井副知事は獣医師で、衛生部局で公務員獣医師として食品衛生監視や狂犬病予防業務、と畜検査、あるいは産業廃棄物対策など、県民の安心安全に関する分野の業務も担ってこられた先生であります。従来、「獣医師職給料表」の創設については、様々なご意見がありなかなかまとまらなかったのですが、従来指摘されていた欠点（年齢を重ねることにより昇給が悪くなる点等）を改良されたとのことで、今後、このような「獣医師職給料表」の創設に向けて全国的に弾みがつくものと思われまます。

おわりに、COVID-19は、山口県でも変異株による流行も増え一向に収まる気配がありません。昨年度も、ほとんどの行事を中止させていただきました。ただ、会の運営は、皆様方のご協力によりすべて順調に推移することができました。厚く御礼申し上げます。今後も魅力のある会の運営にむけて、諸先生方のご支援・ご協力を賜りながら、新役員一丸となって頑張りたいと存じますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

## 副会長就任に当たって



このたび公益社団法人山口県獣医師会の副会長をおおせつかりました白永伸行と申します。

普段は開業獣医師として周南市でシラナガ動物病院を営んでおります。

職域の均衡を考慮した結果、前任の中越副会長に引き続きまして小動物部会からの代表として私が三役の一員を担うことになりました。今後産業動物と公衆衛生の職域事業に関しても学ばなくてはいけないことがたくさんあると思ひ、身を引き締める所存です。

私は平成22年から昨年まで小動物部会長として5期10年にわたって獣医師会事業に関わらせていただきました。その間に山口県獣医師会は公益社団法人となり、開業部会と狂犬病対策委員会は合併して小動物部会と名称を変え一元化となりました。部会では獣医師会事業の大きな柱の一つである学術活動の充実をはかるため、講習会の回数の増加や著名な講師の招聘に力を注いで参りました。しかし開業部会の要素に関わること、すなわち開業医にとって不利益とならないような様々な取り組みに関しては自分では十分貢献できたと思っております。

私の主観でお話ししますと、小動物開業獣医師と獣医師会の話題の際に「特別会費まで払っているのに要望や意見が通らない（会費の不均衡と開業へのリスペクトがない？）」「入っているけど何をしているのかわからない」「何か（会員に不利益なことが）あっても何もしてくれない」「めんどくさい話になるならいつでも辞めればいい」というネガティブなコメントをよくお聞きします。ところが獣医師会地方会は都市部に比べて加入率が高く入会のステータスは実質的には感じにくいものの、入会理由は「獣医師会だから」という未入会だとバチでも当たるかのような曖昧さがありながら、地域の獣医療を担うにあたって「一人であって一人でない」という仲間意識の高さが入会率に反映しているのだと思われまふ。一方で若手の先生方には「獣医師会は退屈で先輩の先生方は何をやっているのかわからないしそもそも教えてくれない。」「会費を払うのがもったいないのではないが入会してもメリットがないのでは？」などです。この理由はひとえに若手の登用が遅れて獣医師会事業の実感の理解不足であり、次世代への事業の引継が円滑にできていないと感じています。

副会長理事 白 永 伸 行

山口県獣医師会は県内居住獣医師の加入率は高く思えることに私は誇りを感じますが、獣医師会が意見闊達に健康的な姿を示すために、会員が何をしてくれるかではなく、会員が獣医師会に何ができるかを考えてほしいのでどんどん意見をだしていただきたいと考えています。ところが意見交換の場が少ないのも現状です。定時総会後の懇親会も公益化に伴い廃止され、異なる職域の方と交流する機会もありません。そしてコロナ渦で今後の事業計画がまだ不透明であるため新しい形を模索しなくてはいいませんが、意見交換や交流の場は再構築の必要性も課題と考えています。また他県で活発な獣医師会活動を行っているところは40代を中心とする若手世代の参加意識が高く見えます。そこで今後県獣医師会の事業や役職などは動ける若手にベテランが知恵を貸すという形のほうが世代間の相互理解が三次元的により深まって健全かも知れませんが諸先輩方には若返りをはかることへの理解も訴えていきたいと思ひます。

さらに小動物職域では大きな課題を有しています。愛玩動物看護師法が令和4年5月1日に施行日が定められ、2年後には国家試験によって愛玩動物看護師が誕生します。小動物開業医にとって病院運営上、動物看護職スタッフは欠かせない貴重な存在ですが、施行の目的やどういう利点や法に触れる状況になるのかなど現状はわかりにくく、現職スタッフがそうやってスムーズに取得できるかなどの悩みも多いようです。そこで山口県獣医師会が対応すべき点としては、法の制定による県内動物病院に勤務する動物看護師への国家資格化に関する相互理解をまとめ、特別会費を供出する開業の獣医師会員が不利益にならないように何ができるかを考える必要がありますので皆様へのご理解を賜りたいと思ひます。

以上、小動物職域の視点から私自身の獣医師会への期待を述べさせていただきましたが、三役として山口県獣医師会の意思決定と実行に関わる上で、コロナ渦ではありますが山口県獣医師会会員が会を通じ何らかの関わりを実感できるような獣医師会のあり方を実現できるよう田中会長、酒井常務にご指導を仰ぎながらも力を合わせていきたいと思ひます。会員の皆様へはどうかご協力とご指導のほどよろしくお願ひいたします。

## 常務理事就任に当たって



今年度の定時総会終了後に開催されました第2回理事会において、福島和彦前常務理事の後任に選定されました。理事2期目での常務理事就任となり、力不足ではありますが、伝統ある山口県獣医師会の今後ますますの発展に向け、会の運営に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は、下関市出身で、山口大学では家畜外科学研究室に所属していました。卒業後は山口県に就職し、公衆衛生獣医師として、食の安心・安全、動物愛護管理、循環型社会づくり、地球温暖化対策等の業務に従事しました。若い頃は各地の保健所(現在は、健康福祉センター)にも勤務し、地元支部の先生方には、公私とも大変お世話になりました。

さて、田中尚秋会長が本号で、本会運営における多くの課題について紹介されていますが、獣医師会館の老朽化により、これまで学会や講習会等で活用してきた3階の講堂が使えなくなり、外部の会場の

常務理事 酒井 理

使用料等の新たな負担が生じています。

福島前常務が、会報や獣医学雑誌の電子化等、経費の削減を進めてこられました。今後、さらなる見直しが必要となります。

また、新型コロナ対策の新たな取組みとして、リモート併用による委員会を開催しましたが、音声聞き取りにくい等の指摘もあり、今後多くなると予想されますオンラインでの講習会等の開催に向け、準備を進める必要があります。

私の好きな言葉の一つに、サントリーの創業者鳥井信治郎氏の「やってみなはれ やらなわかりまへんで」があります。

本会の事務局を預かる立場としては、当然、慎重に事を進める必要がありますが、会員の皆様のご意見をお聴きしながら、経験豊富な田中会長、若さと行動力に溢れた白永伸行副会長、明るく朗らかな木村書記とともに、様々な課題の解決に向け、積極的に取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお祈りいたします。

## 理事就任にあたって



この度、岩柳支部より推薦され6月13日の総会において理事に承認されました河上です。私は1952年3月6日生まれの69歳です。1974年

に日本獣医畜産大学(日本獣医生命科学大学)を卒業し、東京、広島で動物病院勤務後1978年に岩国市で開業いたしました。その年獣医師会に入会し、1981年指定獣医師となり、現在までに県・支部の理事、岩柳

岩柳支部 河上 茂

(河上動物病院)

地区開業獣医師会会長、職域部会委員(小動物・学校飼育動物対策・災害時動物救護対策)、支部の事務局(現在)を務め、今年度で指定獣医師を定年いたします。

これまでの経験を生かし開業の立場から山口県獣医師会に貢献できるように努めたいと思いますので、皆様方のご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

## 理事就任に当たって



この度、令和3年度定時総会において理事として、ご承認いただきました。浅学ではありますが、よろしくお願い申し上げます。

以前、仕事の関係で一時山口支部に在籍していた時、よく獣医師会館に行き無理なお願いをしていた時も快くご協力いただいた、当時の田中尚秋常務理事(現会長)や事務の方々のことは今も思い出します。

私も平成26年に公衆衛生獣医師として長年勤めた県を退職した後、しばらくは古巣のお世話になりながら年金受給年齢まで食いつないで参りまして、ようやく解放され、これからは地元の自治会長などボランティア活動に専念して余生を過ごす予定でした。

岩柳支部 後藤 孝一

しかし、以前から断り続けていた支部の役員就任と同時に県の理事への推薦など、慌ただしく諸先輩方の決められた路線に乗せられてしまいました。

予期せぬ理事就任ではありましたが、山口県獣医師会の令和3年度事業計画書にありますように、「獣医学術・獣医療技術の向上普及」、「動物の愛護・保護・救護等支援」、「広報・普及啓発」そして「県獣医師会館の老朽化に伴う対応策」など早急に対応せざる得ない懸案事項もあり、会員の方々と一致団結して取り組む必要があります。

私は、これらの諸問題について、常日頃から会の運営に努力されている本会事務局と支部会員との懸け橋になるべく、任期2年の在任中は微力ではありますが尽力させていただきます。

## 理事就任に当たって



下関支部 高橋 学

(たかはしペットクリニック)

このたび、新しく理事に就任いたしました下関支部の高橋学です。今までは小動物部会にて活動に携わってまいりましたが、これから

は理事として本会の発展と会員皆様のために微力ながらお手伝いさせていただきます。さて、私は昭和63年に日本大学を卒業し、第一製薬㈱(現第一三共)に入社、動物薬部門に所属し16年間民間企業に所属しておりました。当時は小動物向けの製品は少なく、主に畜産向けの製品ばかりでしたので、共済、養豚、養鶏獣医師との交流ばかりでした。その後、動物薬業界を取り巻く環境は加速度的に変化し、畜産物への薬物残留問題やワクチンの台頭による抗菌剤の使用量減、中小規模の畜産家の統廃合による畜産戸数の減少、小動物病院の激増などにより、その市場規模は急激に小動物薬に傾いていきました。当然、メーカー各社は小動物薬の開発に注力し始めましたが、外資メーカーが海外で販売していた製品を相次いで上市、さらに国内メー

カーへの販売委託から直販に転じたため、小動物薬市場で有力な製品をもたない国内メーカーは動物薬市場からの撤退を余儀なく強いられました。第一製薬㈱も赤字に転落した動物薬部門を存続することが困難となり、営業権を明治製菓に売却し動物薬部門は消滅しました。当時、私は42歳。会社に残って新しい部署で一から仕事を覚えるという選択肢もあったのですが、どうせ一からならと会社を退職し、開業を目指して代診に身を転じました。大阪で2年間修業、そして妻の故郷である下関で開業して15年が過ぎようとしています。臨床では数々の失敗を繰り返してきましたが、ここまでやってこられたのも、周りの先生方のサポートがあってからだとこそ感謝しております。上述の通り、過去から現在に至るまで、常に営利目的の仕事に就いてきた私が、非営利団体である本会の運営にプラスになるかどうかは不安がありますが、諸先輩方のご指導を仰ぎながら本会の運営に協力してまいりますので宜しくお願いいたします。

## 理事就任に当たって



山口支部 脇本 雄樹

(西京の森どうぶつ病院)

2021年6月より、新しく理事に就任しました山口支部の脇本雄樹です。幼少期を周南市で過ごし、山口大学農学部獣医学科を卒業した生粋の山口県人です。大学卒業後は山口県庁で9年間勤務しました。県庁職員時代、農林水産部畜産振興課では家畜伝染病予防法や薬事法などを学び、家畜保健衛生所では家畜防疫員として畜産農家と向き合い、農林総合技術センターでは山口型放牧における専門研究員として耕作放棄地対策に取り組みました。その後、下関市内の動物病院で小動物臨床について学ばせていただき、現在は山口市内に動物病院を開業しています。大学時代や開業するまでの社会人時代に学んだ知

識・技術は、今の仕事にも大いに活かされていますが、その時代に得た最も大きなものは『人とのつながり』です。今回、初めての理事会に出席しましたが、県庁時代の恩師、小動物部会の頼もしい先輩、そして大学の頃からお世話になっている方々が理事や監事を務めており、多くの方に声をかけていただいたことで、緊張感の中にも安心感がありました。山口県獣医師会には、私とつながりを持つ多くの先輩や後輩がいます。小動物臨床をはじめ、農林水産や公衆衛生、学校教育など幅広い分野で活躍される皆様の意見を集約し、各部会の立場も理解しながら、相互の連携ができるよう貢献したいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

## 理事就任に当たって



山口支部 大石 大樹

(中部家畜保健衛生所)

この度、総会で選任をいただき、新しく理事に就任しました。ご挨拶を兼ねて少し近況や自己紹介などさせていただきます。私は平成15年3月に北里大学獣医畜産学部を卒業後、4月に山口県庁に入庁しました。生まれは広島県ですが、母の実家が下関にあり、山口県は昔からなじみのあるところでした。就職先を考えるにあたり、実習などでも小動物臨床よりも産業動物に興味があったこと、なるべく実家に近いところで働きたいとの思いから山口県を受験しました。本年4月に異動となり、現在は中部家畜保健衛生所病性鑑定室で勤務しております。

には経験のない公衆衛生や小動物臨床の先生方の発表にたくさん刺激をいただき、普段の家保の業務では思いつかないアイデアや手技を知ることができました。何よりもその分野の専門家の方を知り、行き詰った時には相談できる人と知り合えることは獣医師会員の大きなメリットであると思います。獣医師会では産業動物部会にも携わらせていただいております。コロナ渦であることも踏まえて、時代に応じた研修会や講習会の開催方法も考えていかなければならないと感じております。その際には、会員の皆様のご意見も参考にしていきたいと思っております。

山口県獣医師会には入庁と同時に会員となり、一会員として県獣医学会や、産業動物講習会などに参加させていただきました。学会や講習会では、他の産業動物分野の先生方の発表はもちろんです、私

この6月には久しぶりに総会に参加させていただき、今後は役員として活動させていただきます。右も左もわからず、力不足ではありますが、せっかく理事に選ばれたからには、さまざまな分野の方と交流を深めていきたいと考えております。会員の皆様、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 監事就任に当たって



山口支部 白銀 政利

(公益財団法人 山口県生活衛生営業指導センター)

この度、令和3年度定時総会の承認をいただき、監事に就任いたしました。本年3月に退職しました県庁在庁の折には、一会員として、また支部長として、個別事業・業務でお世話になりました。関わった個々の事業等を、大過なく全うできたのは、田中会長をはじめ、歴代三役・支部の先生方のご支援のおかげと感謝申し上げます。

こうしたご支援をいただく中、自分なりにではありますが、獣医師会事業の活性化に向けて、何かできることはないかと常に考えてきました。小さなことではありますが、県庁支部長の時代には、年頭挨拶は必ず自分の手で書き、自分の思いを自分の言葉で表わすよう努めてきました。

皆様の中で、会報の「年頭のご挨拶」を読まれたことのある方はいらっしゃいますでしょうか。私も、通常読み飛ばす記事（興味をもって読む対象ではないもの）の一つと認識し、読んだことがありませ

んでした。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、公衆衛生分野では、この挨拶文は、県庁支部の事務局担当（技師or主任技師）が作成するのが通例です。第三者が課長等名で代筆する（当然、課長等の決裁を受けます）のですから、熱意のある文章になる訳がないのです。少しでも興味をもって読んでいただける記事を提供することが、本会事業の活性化につながるものとの勝手な思い込みから、些末なことですが、3年間、自ら挨拶文を書いてきました。

現在、私は、公益財団法人の職員として、法人事務に間接・直接に関わっています。同じ法人法の下で事業を行う訳ですから、類似の事例は多々あるものと思っており、監事として少しでもお役に立ちたいと考えています。

一会員の視点を忘れず、理事職務の執行の監査という監事の重責を真摯に努めてまいり所存ですので、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜れば、幸に存じます。

## リレー随筆

### ゲーム始めました

初めまして。同じ動物病院で働いている先輩の小谷先生からバトンを受けました、シラナガ動物病院に勤務している森永有紀といいます。昨年山口県獣医師会に入会させていただき、社会人として働き始めて2年目になりました。働くことや周南市での生活、周りの環境にもやっと慣れてきたところです。

コロナウイルス感染症のため外出が制限されて、旅行や飲み会にも行きにくくなり退屈な日々が続いています。リモート飲みという言葉もできて一度参加はしてみました。がなんとなく味気ないなと思ってしまいました。私の個人的な気持ちですが、やっぱりお店で話をしながらみんなで同じものを食べて美味しいお酒を飲んで、ほろ酔いで涼しい夜道を帰りたい。早く気軽に飲みに行ける日常が戻ってきたいなと思います。

そんな日々を楽しむためと、ついでに運動不足を解消するため、お家で楽しめるNintendo Switchのリングフィットアドベンチャーを始めてみました。ゲームを購入するのは高校生以来なので、少しワクワクしました。新垣結衣さんがCMしており、やっておられる方もいるかと思いますが、このゲームはリングコンという手で操作するアイテムと足につけるバンドで全身の動きや力を認識しゲームの世界と連動します。運動することで敵に攻撃を与え、敵を倒してストーリーを進めていくアドベンチャーゲームで、レベルが上がるにつれて体にかかる負荷も増えていくのでしっかり運動ができます。60種類以上のフィットネスができると言われており、徐々にできるフィットネスが増えていくという楽しみもあります。

ゲームを始めてみて、仕事に行く前に軽くストレッチ程度と考えていたのですが思ったよりも結構きつ

い…。たった20分程度しか動いていないのに汗びっしょり。ゲーム中いろんな動きをするので普段使わない体の部位がしっかり伸びているのを感じますが、次の日には筋肉痛で体が痛かったです。結局、仕事から帰って元気がある日か休日にやることに

なりました。毎日コツコツ続けるとだいたい3ヶ月でクリアできる設定みたいですが、私が始めてから4ヶ月くらいでまだ半分もクリアできず。クリアまでの道のりは遠いですが無理せず楽しみたいと思います。ゲームではありますがしっかり体を動かすことができるので、最近運動不足だと感じておられる方はやってみてはいかがでしょうか。

もともと体を動かすのは嫌いではなく、大学生の頃は同級生とバレーボールやランニングをしていました。友達と思いきり楽しめたあの頃が懐かしいですが、今までしたことがないことをやってみるのも悪くないと思うようになりました。コロナ感染症が1日も早く終息することを願いつつ、今できることをしっかり楽しみたいと思います。

次回は大学の先輩でもあり優しく頼りになる、シラナガ動物病院の末田優先生にお願いします！

徳山支部 森 永 有 紀  
(シラナガ動物病院)

保健所から実家に引き取って1年のハリーくんです。よくお庭で日向ぼっこしています。

(書評)

## 「人とペットの赤い糸」 越村義雄著

山口支部 中間 實 徳

(山口大学名誉教授・東亜大学客員教授)

本書はペットフード協会名誉会長の越村義雄氏が2017年10月から2020年1月まで、毎週木曜日に「夕刊フジ」に連載されたコラムから、72話を厳選して本として出版されたものです。3章から構成されており、第1章は29話、第2章は25話、第3章は18話が書かれています。

## 第1章 ペットと暮らす

この章は第1話の「犬と人が快適に暮らせる家とは？」に始まり、第11話の「猫と触れ合い癒される場—猫カフェ」では、2017年日本で初めて猫の飼育頭数が犬の飼育頭数を上回り、2020年猫の飼育頭数(964万4,000頭)、犬の飼育頭数(848万9,000頭)になっています。(ペットフード協会調べ)。また、ウサギやフェレット・ハムスター、野鳥等の飼い方の注意点、「ペットロス克服するには」といった問題等が分かり易く書かれています。

## 第2章 ペットを知る

第1話の「人生100年時代の人とペットのあり方とは？」では、ペットと暮らせば医療費が削減できると書かれています。日本の2019年の厚生労働省の発表で、日本人の平均寿命は、女性が87.45歳(世界第2位)、男性が81.41歳(世界第3位)と過去最高を更新しました。著者がペットフード協会の会長時代(2014年)に人の健康寿命を政府が行う同様の手法で調査した結果、「犬を飼って散歩に連れて行く」人は「ペット飼育経験なし」の人に比べ、男性は0.44歳、女性は2.79歳も健康寿命が伸びたという結果を得ました。なお、日本の犬と猫の平均寿命は、それぞれ14.48歳と15.45歳となっています。第3話の「優れた嗅覚を持つ犬ががん発見の救世主に」では、犬の嗅覚は人間の100万倍から1億倍すぐれていると言われており、人の早期がんにも反応しその的中率は100%近い大学の研究機関で実証されています。第8話の「日本犬を天然記念物から世界遺産に」では、日本犬保存会等の尽力により、日本犬は古い順に、秋田犬、甲斐犬、紀州犬、柴犬、四国犬、北海道犬の6種が指定されています。第24話「日本最大のペットフェア：インターペット」は、著者がペットフード協会の会長時代(2011年)に立ち上げたもので、2021年は第10回目の開催となり、コロナ禍で大変でありましたが、ペットフード・用品メーカーに加え、住宅、自動車、航空会社などが参加し、内容も年々充実してきているとのことでした。

## 第3章 人とペットの理想郷

第1話「介助犬とともに自立した生活を」には、補助犬と言われるものは、2020年4月時点で盲導犬(909頭)、介助犬(62頭)、聴導犬(69頭)が活動しています。一方、2017年3月時点で、日本の視覚障害者は約33万8000人、肢体不自由者が約275万5000人、聴覚・平衡機能障害者は約44万8000人で、補助犬は身体障害者の約0.03%にも満たないとのことでした。介助犬に適した犬は、ラブラドル・レトリバーやゴールデン・レトリバーとされていますが、犬の適正や能力によりほかの犬種も活躍しています。第3話「盲導犬は大切な家族の一員」では、盲導犬が補助犬の中では最も多いですが、それでも、日本には視覚障害者の約33万人以上に対して盲導犬は900頭余りです。盲導犬は英語で「Guide Dog」または「Seeing Eye Dog」と呼ばれ、まさに視覚障害者の目の役割を担っています。盲導犬を育成するには盲導犬訓練士が不可欠で、彼(彼女)らは盲導犬の訓練だけではなく、目の不自由な人と盲導犬の補講指導も行う盲導犬歩行指導員でもあります。盲導犬とどのように歩行するかという技術的な指導だけでなく、盲導犬と生活を始めるのに立ち会い、その後も見守るといった責任も負っています。第8話「動物福祉の基本概念：5つの自由」では、①飢えと渇きからの自由、②不快からの自由、③痛み・傷害・病気からの自由、④恐怖や抑圧からの自由、⑤正常な行動を表現する自由が謳われています。また、「5つの責任」として、①きれいな水と適切な食事を与える。②適切で快適な環境を与える。③予防的獣医療、迅速な診断と治療を提供する。④同種のほかの個体と適切に接触する機会などを与える。⑤人間やほかの動物と接触を避けるための避難空間を提供する、となっています。第9話「殺処分ゼロより飼育放棄ゼロへ」では、殺処分の問題解決への5つの提言をしています。即ち①教育・啓発、②鑑札・迷子札・マイクロチップの装着、③不妊去勢手術の徹底、④殺処分ゼロから飼育放棄ゼロへ、⑤ペットを迎え入れる際の飼い主の理解を挙げています。

以上、私が本書で関心を強く持った話題を紹介しました。私は著者の越村義雄氏とは長年の知己で、1987年カナダ・モントリオールで開催の世界獣医学会参加のまえに、同氏が動物病院向け特別療法食・専門店向けフードで、アメリカ最大のペットフード

会社の日本ヒルズの社長を務めておられた時に紹介されて、アメリカ カンザス州・Topekaにあるヒルズ本社を訪問したことがあります。ここに紹介した越村氏の近著「人とペットの赤い糸」には、獣医師や獣医学生、動物看護師やその学生およびペットを飼っている人やこれから飼おうとする人にも大いに参考になる事柄が掲載されています。ここに一読を推薦する次第です。

### 「人とペットの赤い糸」

人とペットの幸せ創造協会会長・ペットフード協会名誉会長 越村義雄著

Gakken (株)学研プラス発行 2021年7月13日発行  
pp.261 定価1,650円(税込み)



## 四面楚歌

宇部厚狭支部 羽 迫 広 人

(ここのは動物病院)

宇部厚狭支部の羽迫と申します。先日、ふとした日常会話から自身の内面を見つめ直す機会を得ましたので今回はその件についてご報告したいと思います。

大学を卒業してからの16年、臨床に携わる中で自身の常識は必ずしも患者様にとっての常識ではないと痛感させられる経験が多々ありました。自分の考えなど一個人の見解に過ぎず、その見解は常に客観視されなければならないのだな。自身の常識は周囲にとっても常識などと驕った考えではいけないのだな。と都度思い知らされるわけです。

その朝、出勤してきた看護師A（愛媛県出身）が興奮気味に私に言いました。

A「院長！！野生のザリガニ見たことありますか！？」

羽「・・・えっ？あ、うん。・・・えっ？野生の？ザリガニやろ？え？その辺にウジャついとるやろ？」

A「私今朝、生まれて初めて見たんですよ！！」

羽「え！？まじで？ザリガニさん初対面？」

A「いえ、ザリガニは昔ペットショップで購入して以来です！！」

羽「・・・まじか。」

驚いた私は続けて出勤してきた看護師B（山口県出身）に確認しました。

羽「ちょっと聞いてくれ。Aさん、自然界のザリガニ見たの今朝が初めてらしいぞ。」

B「えっ！？ほんとですか！？ザリガニってその辺にいるやつでしょ？その辺の川の・・・」

羽「そうそう！用水路ん中覗いたらめっちゃおるやんな！！」

B「・・・えっ？中っていうか陸にいるやつですよ？」

羽「・・・え？いや、陸上があったらほぼ死ぬやろ。餌食やん。・・・えっ？ザリガニよ？」

B「道路に出てきて運転中邪魔なやつですよ？」  
・・・どうやら彼女は川沿いの路上で車輪の犠牲になるカニ（おそらくアカテガニ）の事をザリガニと呼んでおられたようで。

なんてこった。Aは地域差で説明がつくとしてBに至ってはザリガニの概念すら変わっちゃまってやがる。

あまりに衝撃的だった事実を妻（東京都出身）に伝えたところ

妻「えっ？ザリガニはお台場でお金払って釣って

たよ？」

お話になりませんでした。なんじゃお台場のザリガニ釣りって。そんなもん養殖もんのザリガニじゃ知らんけど。

誰もが幼少期から触れ合い、飼っては匂いに悩まされ、共食いシーンで幼な心に傷を負うのがザリガニだと思っていた私の常識はあの日覆されたのです。

そして“自分という人間は自分が思うよりずっとマイノリティなのかもしれない”とザリガニ経由で考えさせられる一日となりました。貴重な経験をありがとうザリガニ。

ここまでの衝撃は無いにせよ、診察の中で患者様との認識の違いに気付かされる事は少なくありません。風邪と同レベルで狂犬病が発生すると思われていたり、雌猫の去勢手術を依頼されたり、「歯が抜けました！助けて下さい！」と深夜に乳歯脱落の緊急電話があったり。

しかしこうした経験を経て、診察中の会話で想定外の変化球が飛んできても動じることなく受け止めて差し上げられる獣医師に成長していけたらと思います。

ちなみに看護師Bに正しいザリガニを説明したところ、「ああ、あの伊勢エビみたいなやつですね！！知ってます知ってます！」

と言われました。もうさ、それ、エビで良くない？伊勢、いる？



あ、意外と伊勢っぽいかもしれない。



## 70年に終止符—閉院のお知らせ—

下関支部 山 縣 純 次

(山縣獣医科病院)

暑中御見舞い申し上げます。

このたび、令和3年7月末日をもちまして閉院することといたしました。

昭和26年（1951年）に厚狭郡畜産農業組合連合会に奉職し、1年後依願退職し、同町において山縣獣医科病院を創立開業しました。

同地において産業動物診療10年間、下関市において小動物診療60年間、地域に根ざした病院を目指し、70年間獣医療を続けてきました。

今日まで続けることができましたのも、獣医師会の先生方、地域住民の皆様のおかげと心から感謝い

たしております。

まだまだ心身ともに動けると自負していますが、昨年卒寿を越えましたので、皆様に御迷惑のかからぬうちにリタイアすることにいたしました。

今後も山縣獣医科垢田病院は引き続き診療をしております。

最後に、皆様の永きにわたる御厚誼に深く感謝申し上げます、閉院の御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和3年7月吉日

## 令和3年度獣医学術中国地区のご案内

次の日程で開催されますので、お知らせします。発表者以外で参加を希望する会員は、事務局に連絡をお願いします。

○開催日：令和3年10月16日（土）～17日（日）

※演題数により、10月17日のみとなる可能性もあります。

○開催場所：ホテルグランヴィア広島（広島市）

○講演要旨：各県獣医師会が学会部門ごとに取りまとめて、9月7日（火）までに広島県獣医師会に送付する。

○発表用ファイル：Microsoft Power Point（windouws版）で作成し、各県獣医師会で取りまとめて、9月22日（水）までに広島県獣医師会に送付する。

## 事務局だより

7月8日 ・職域三部会合同委員会（県獣会館・リモート併用）

7月12日 ・令和4年度中国地区学会設備関連打ち合せ（県獣会館）

7月16日 ・令和3年度全国獣医師会事務・事業推進会議（書面開催）

7月19日 ・会計事務所打ち合せ（県獣会館）

7月27日 ・会報編集委員会（県獣会館）

7月30日 ・令和3年度山口県家畜衛生連絡協議会（中部家畜保健衛生所）

7月8日、21日 ・事業推進会議（県獣会館）

次回編集委員会 8月24日（火）13：30～

山口県獣医師会会報 第723号 令和3年8月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 上田 晋平

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

# 獣医師会の皆様へ



乗馬クラブクレインから  
乗馬試乗会をご案内いたします。

馬に乗ってみたいな…という方に  
ぜひ、ご利用していただければと思っております。  
日程をお決めいただき直接お電話にてご予約下さい。  
皆様のご利用を可愛い馬たちとお待ちしております。



## ～乗馬試乗会～10月11日まで

- ・服装は長ズボン・靴下・手袋をご用意ください
- ・装具レンタル・保険代 1,850円必要です。
- ・小学1年生から70歳代までOKです。
- ・初心者でも大丈夫！お気軽にお電話ください。
- ・必ず事前にご予約をお願いします。

## やっぱり乗馬はいい！

馬に乗ることはもちろん、ストレス発散  
だけでなく、何か仕事以外の目標を持つ  
ことで張りのある生活が戻ってきます。

## おすすめポイント！

気がつけば忙しい日々を追われ自分らしく  
いられる時間を忘れていませんか？

大好きな馬たちに囲まれ、また同じ楽しみを  
持つ仲間との出会い、乗馬には心のゆとりを  
取り戻してくれる力があります。



コロナ対策は  
こちらから



お問合せ・ご予約は  
お電話かQRから！



乗馬クラブ クレイン多々良

TEL:0835-32-2770

山口県防府市切畑783

受付時間 9:00～17:00(水10:00～18:00)

ここをクリック

[https://uxfb.f.msgs.jp/webapp/form/21574\\_uxfb\\_1819/index.do](https://uxfb.f.msgs.jp/webapp/form/21574_uxfb_1819/index.do)